

# 知事とのふれあい対話の御案内



県民が安心できる行政づくりに資するため、知事が県民と対話を行う「知事とのふれあい対話」を以下のとおり開催します。

なお、参加に当たっては事前の申し込みが必要ですので、以下の2を参照の上、お申し込みください。



## 1 内容

知事が参加者とテーマについて意見交換を行います。

開催地域	北薩地域（薩摩川内市・さつま町）	
開催日	令和8年5月31日（日）	
開催時間	10時～ （90分程度）	
開催場所 （住所）	鶴田中央公民館 （さつま町神子666番地1）	
テーマ	地域のインフラを生かした地域産業の 「稼ぐ力」の向上について	
参加者 （知事と直接意見交換する方）	推薦枠	5名程度
	公募枠	5名程度
傍聴者 （参加者と知事のやりとりを見る方） <small>※知事に対して発言することはできません。</small>	100名程度	
申し込みフォーム （QRコード）	参加者申込	傍聴者申込
		

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

## 2 参加者等の募集（※参加者（公募枠）・傍聴者の申し込みが定員を超過した場合は抽選）

### (1) 申込方法

- ・ 県ホームページ（専用フォーム）※上記1のQRコードからアクセス
- ・ 申込用紙を県広報課に郵送またはFAX（申込用紙は裏面）

### (2) 申込期間

参加者：令和8年4月16日（木）～令和8年4月27日（月）（必着）

傍聴者：令和8年4月16日（木）～令和8年5月22日（金）（必着）

### (3) 申込要件

- ・ 薩摩川内市またはさつま町にお住まいの方（左記以外にお住まいの方は不可）
- ・ 議員及び公務員の方は、「参加者」へのお申し込みは出来ません。  
「傍聴者」へのお申し込みを御検討ください。
- ・ 開催当日15歳以上（中学生は除く）の方
- ・ 参加者としての申し込みは同一世帯からは1人限りとさせていただきますので御了承ください。



## 3 当日の留意事項

参加者及び傍聴者の方について、代理出席はできません。（※御協力いただけない場合、参加をお断することがあります。）

（問合せ先） 鹿児島県広報課県民の声係（099-286-2093）

# 「知事とのふれあい対話」の参加者（公募枠）及び傍聴者の申込用紙

●この用紙に御記入の上、県広報課まで郵送またはFAXでお申し込みください。

申 込 先：鹿児島県広報課県民の声係(〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号)

F A X 番 号：099-286-2119

募 集 定 員：参加者（公募枠）5名程度、傍聴者100名程度

結 果 通 知：・参加申込者について5月15日頃までに郵送等で連絡

・傍聴申込者については結果通知は行いません。当日直接会場にお越しください。

ただし、募集定員を超えるお申し込みがあった場合は、抽選を実施し、落選された方のみ5月26日頃までに郵送等で連絡します。

項 目	内 容
参加会場	鶴田中央公民館
申込区分 (希望の□欄に✓) ※必須	<input type="checkbox"/> 参加者（公募枠）を希望 ※知事に対して意見等を発言する方 <input type="checkbox"/> 傍聴者を希望 ※参加者と知事のやりとりを見る方（知事に対して発言することはできません） <input type="checkbox"/> 参加者（公募枠）を希望するが、抽選になって、外れた場合は傍聴者を希望
ふりがな 氏 名 ※必須	
住 所 ※必須	〒
性 別 ※任意	
年 齢 (該当の□欄に✓) ※必須	<input type="checkbox"/> 15～19歳 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上 ※ 申込要件は開催当日15歳以上の方になります
職 業 ※任意	
電話番号 ※必須	
メールアドレス ※任意	

## ● 「参加者」を希望された方で、テーマ（地域のインフラを生かした地域産業の「稼ぐ力」の

向上について）について、知事に提案・発言したいことを以下に御記入ください。

※この内容が抽選に影響することはありませんのでご自由にお書きください。

（記入例）

- ・川内港の唐浜埠頭の暫定供用が開始されたが、地元企業が輸出に取り組みやすい支援はないか。
- ・観光交流人口を拡大し、広域的な観光の活性化を図るために、SNSでの情報発信を強化してほしい。